

平成30年度 花さきデイサービス 事業報告書

1. 施設の概要

事業の種類	介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業・通所介護事業		
定員	介護予防・日常生活支援総合事業	通所介護事業	合計 20名
対象	要支援 要介護と認定された方		

2. 職員配置数

(1) 職種別人員 単位: 人

職 種	専任	兼任
管理者	0	1
生活相談員	0	2
介護職員	3	0
看護職員	0	2
機能訓練指導員	0	2
調理員	0	0
合計	3	7

3. 一日の流れ

時間	項目	内容
8:00	迎いの車出発	送迎車で順次迎えに出る。
8:50	全車到着	順次施設に到着し職員が出迎える。
9:00	健康チェック	看護職員が血圧、体温、脈拍を測定し連絡帳に記入する。
	入浴	入浴希望者に入浴介助の提供を行う。
	手作業	入浴以外の利用者に手作業や学習療法を行う。
10:30	個別レクリエーション	壁画などの創作活動・脳トレを行う。
	リハビリ	全身運動やボールを使った体操など週替わりで実施する。
	口腔体操	昼食前の口のマッサージなど口腔体操を実施する。
11:45	新聞読み	地域の記事を中心に新聞読みを行う。
12:00	昼食・休憩	
13:30	手作業・機能訓練	各自が手作業・機能訓練を選択し実施する。
14:30	集団レクリエーション	ゲームや体操など担当者が計画を立て実施する。
	歩行練習	
15:20	喫茶	コーヒーや紅茶などを飲みながら談笑される。
16:00	帰宅準備	トイレや着替えなど帰宅準備を行う。
16:10	下肢体操	かかと上げや足ふみなどを行う。
16:20	送りの車出発	各送迎車にて送迎を行う。

4. 年間利用者数

	介護予防利用者数			通所介護利用者数					単位: 人
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
男性	0	1	6	7	0	1	0	15	
女性	1	3	8	8	4	4	0	28	
合計	1	4	14	15	4	5	0	43	

平成31年3月31日現在

事業実績（花さきデイサービス）

※年度別延べ利用人員比較

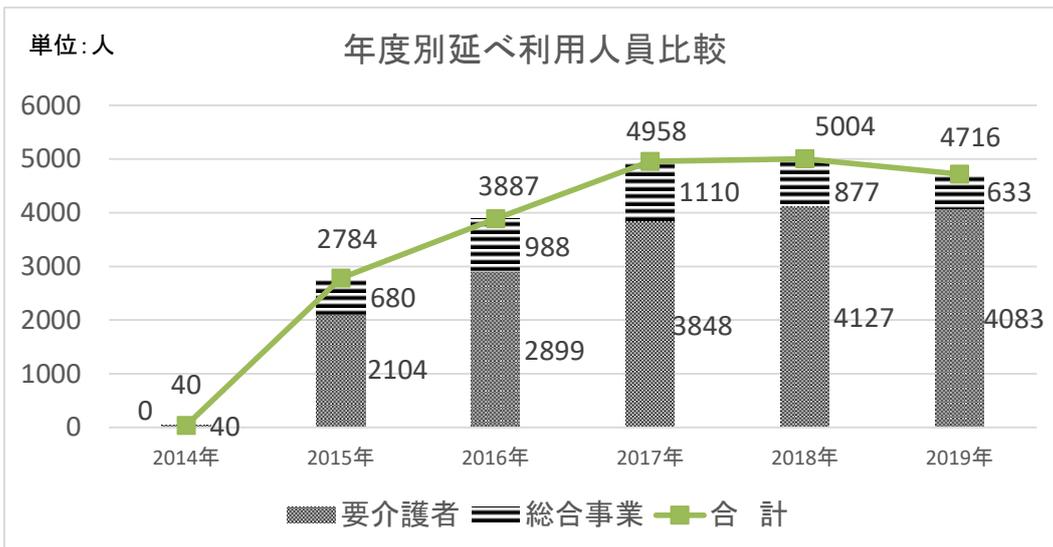
	稼働日	延べ利用者数			1日平均利用		単位:人
		要介護者	総合事業	合計	要介護者	総合事業	
2014年	26	40	0	40	1.5	0.0	1.5
2015年	307	2104	680	2784	6.9	2.2	9.1
2016年	307	2899	988	3887	9.4	3.2	12.7
2017年	305	3848	1110	4958	12.6	3.6	16.3
2018年	308	4127	877	5004	13.4	2.8	16.2
2019年	300	4083	633	4716	13.6	2.1	15.7

*1

*2

*1・・・2014年3月開設の為

*2・・・2017年4月より定員15名から20名に変更

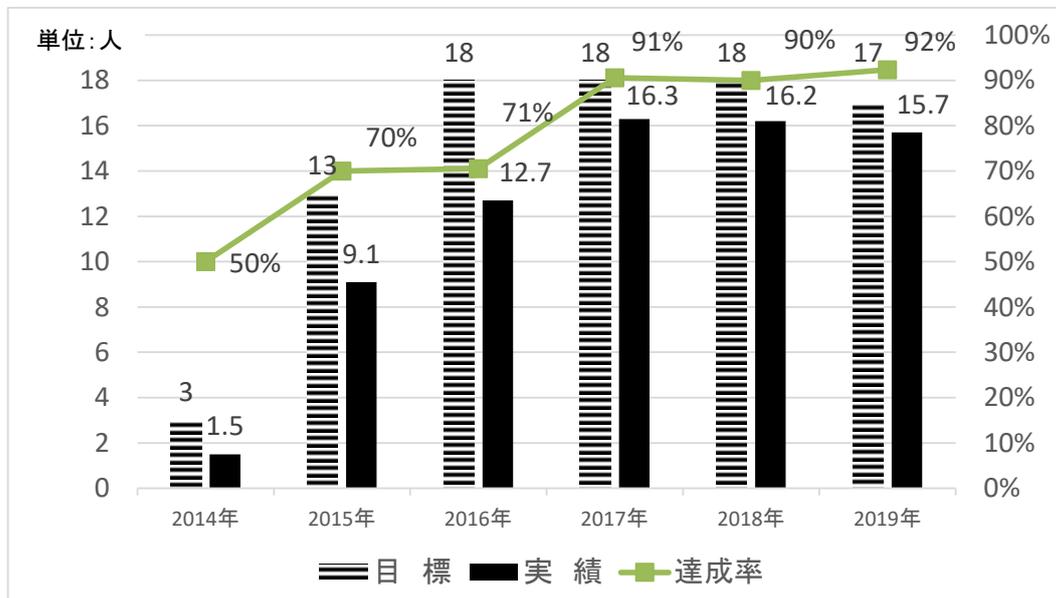


目標と実績比較

1日平均利用者数

単位:人

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
目標	3	13	18	18	18	17
実績	1.5	9.1	12.7	16.3	16.2	15.7
達成率	50%	70%	71%	91%	90%	92%



5.目標達成率

平均利用者数/日	目標	結果	達成率
	17名	15.7名	92.3%

目標達成にいたらなかった理由

①上半期は一日平均16.2人の利用実績であったが、下半期は一日平均14.2人と低迷した。理由として

- ・週6回利用の利用者が12月に入院のため利用終了、週5回利用の利用者が2名11月に、もちもちの木にサービスの変更になった事が大きなマイナス要因。
- ・多回数利用者がいなくなったことで新規獲得のチャンスではあったが、実績回復までには至らなかった。しかし下半期で新規8名獲得できたことは次年度の業績につなげることができた。

②2018年3月に比べ登録人数43名(-3名)と低下している。新規利用者が獲得できなかった事が大きな原因となっている。

- ・平均介護度は要介護1.89(+0.11)、平均利用回数は2.44回/人(+0.29)となっており、重度化の傾向にある。
- ・福崎町は総合事業が充実しており利用者の獲得は難しいが、継続して地域包括支援センターの訪問を実施し新規利用者獲得に努める。

考察

①利用者満足度の向上

- ・西治区、西谷区のボランティアに協力いただき外出、園内行事が安全に行えた。また、施設に足をはこんでいただいたり、地域にでむくことで距離感も縮んだ。

・しょうぶ湯やゆず湯など季節ごとの変わり湯を実施した結果、利用者様から好評を得、「気持ちよかった」「また入りたいな」といった声がきかれた。今後も継続してバリエーション豊かな入浴を実施し、利用者満足度の向上につなげる。

②居宅介護支援事業所、地域との連携

○居宅介護支援事業所

- ・昨年度に比べ、紹介のある居宅介護支援事業所は1事業所の増加があった。また福崎町、船津町、香寺町の地域において主要な事業所から半数以上の紹介があり、顔の見える営業の成果が出ている。今後は新しい事業所の開拓にも注力したい。

○地元自治会

- ・福崎支部が主体となり介護相談会「もちはなこん」を2回(6月、11月)開催することができた。参加人数も増えてきており少しずつ「もちはなこん」の認知度が上がってきた。
- ・西治区ボランティアと連携し、外出支援等の協力を得ることが出来た。

③職員の資質向上

- ・AED使用訓練や避難訓練など緊急時の対応訓練が実施できた。
- ・新人職員の介護福祉士資格取得にあたり、勤務調整を行ったり、実技試験前講習を実施する等、職員全体で新人職員のスキル向上に努めた結果、資格取得する事ができた。
- ・外部の研修会に職員を派遣し新しい知識、情報を取得し会議で報告する事で、情報の共有、知識の振り返りをする事ができた。